

1面から続く

座談会の開催について

中村 先日、事務局から6自治会長と8管理組合の理事長宛に「会則改正検討座談会」の開催について、ファクスでご連絡いたしました。

今日は、皆さんお忙しいところをご参加頂き有り難うございます。

先日の4月28日(土)に開催されました、「ゆずり葉コミュニティ」定時総会において「コミュニティの構成団体である単位自治会(管理組合を含む)を会則上にきちんと位置づけるためにも、再度組織改革の検討に入りたい。」旨決定されました。

地域活動の現状と問題点

中村 先ず最初に、地域活動の現状と問題点から入りたいと思います。一番大きな世帯数の逆瀬台自治会からお願いいたします。

それと、もうひとつ寺山会長ご自身が一昨年来までゆずり葉コミュニティの役員を務めておられました。あわせてご意見をお伺いします。

寺山 逆瀬台自治会は、860世帯という規模が幸いして、地域力を活かした自治会活動が展開されていると思っております。

一方、ゆずり葉コミュニティでは熱心な篤志家やボランティアが地域活動に奉仕されてきましたが、ここ数年、自治会とは遊離した方向へ運営が傾斜したため、自治会と「まちづくり協議会」の関係は是正する必要があると強く感じていました。

ブロック制の見直しが必要

寺山 逆瀬台小学校区まちづくり協議

会が5つのブロック制になっていることに問題点があると思うのです。

地方分権が進み、今後、概ね、小学校区を単位に行政の取り組みが進められようとしており、県の助成金や各種交付金なども、まちづくり協議会単位に支給されることになりま

す。その地域を構成する住民の合意形成が極めて重要で、その機能を発揮できる地縁団体、つまり、自治会をまちづくり協議会の母体にする必要があると思うのです。

校区内にあるそれぞれの自治会が責任をもって権利・義務を果たすことよって、小学校区全体の地域力が向上し、大きな力となって「まちづくり」に取り組めると思います。

逆瀬台自治会を「北逆瀬台」、青葉台と宝梅園団地自治会を「青葉台」、ゆずり葉台自治会を「西逆瀬台」、等というグループ名称も、各地域の会員にとっては何のことか理解しにくい欠点もありました。

中村 次に、600世帯ある大きな光が丘地区では、自治会、老人会、福祉活動委員会、コミュニティ・ブロックがあり、この4つの大きな団体は、非常に伝統のある自治組織、活動団体になっています。

あらゆる団体と住民みんなのサポート体制が大切

黄地 光が丘では、ゆずり葉コミュニティができる前から、色々な団体が活動していました。

光が丘の色々な団体とは、自治会、老人会、福祉活動委員会、民生・児童委員、こども会(小中学生の会です)、花と緑の会、各種の趣味のクラブ、のことです。

これ等団体が主催するイベントには他の団体も協力しサポートする体制になっています。ゆずり葉コミュニティの活動も、これ等団体が協力しサポートしています。

光が丘には32の班と各班を代表する30人の班幹事(代議員)がおり、毎月開く幹事会が通常の議決権を持っています。

例えば自治会主催の盆踊りですが、これを支援してくれるのは、老人会であり、福祉活動委員会であり、その他のあらゆる団体が支

援し盛り上げてくれます。私達はこの特色を活かし、ブロック全体の意見集約と、最終的なコンセンサスを、光が丘地区の「スキーム」を、確立しつつあります。

中村 宝梅園団地の現状の問題点は、自治会役員選出は各階段に任せられていて順番制です。

梅原 自治会役員選出は各階段に任せられていて順番制です。その中でない手のない役職を籤引きで決めます。

中村 宝梅園団地の現状の問題点は、自治会役員選出は各階段に任せられていて順番制です。

役員の良い人材発掘を!! 自治会役員選出は各階段に任せられていて順番制です。

熊谷 自営業で年中忙しく地域での活動は自由に出来ませんが、この地域でのボランティア活動家に対して有り難く思っています。

中村 次に逆瀬台住宅の山口理事長さんにお伺いします。また、東逆瀬台ブロック代表でもあります。

山口 毎月1回「逆瀬台住宅だより」を発行して理事会の決定事項やコミュニティの情報を住民の皆にお知らせし、また下段には意見等の、連絡先氏名、電話番号を記入して、住民の幅広い声を反映したいと考えています。

中村 山口理事長さんの素晴らしい提案有り難うございます。双方向の意見交換が大切でコミュニティ広報部は、ITを利用した情宣活動に常日頃議論しています。

西 会議は休日開催が良い。仕事をしておれば平日の会議の出席は出来ない。最近、3回会議に出席したが役員

の範囲で進み地域住民の方々の参加出来るような会議でなかった。住民皆のつながりや情報を知ってもら

中村 パークマンションの理事長さんに現状の問題をお尋ねします。

中山 このマンション群で一番古く建設され、高齢化が進み役員のなり手も少なくなっている。会則が機能しなくなるのではと心配しています。

中村 では最後に伺いましたが、アヴェルデの副理事長さんいかがですか。

米澤 管理組合としては個人の見解ですが、家族に介護者がいるなど、家庭に事情がある場合には、ボランティアの役員を務めることは負担が過大となりますので、選出方法について工夫や検討が必要なのではないかと思

中村 なお理事長に座談会の参加を申し入れましたが担当理事がいるという事で「逆瀬川グリーンハイツ」と「逆瀬川マンション」は、不参加

黄地 コミュニティの委員が何れかの部会に必ず入るのは止めた方が良いでしょう。

中村 今後は、会則改正検討委員会として座談会のメンバーにブロック代表を加え9月末までに2回行って素案を作成し、最終3回目は、青少年育成市民会議、民生委員、PTA、スポーツクラブ21など諸団体を加えて最終結論を出せればと思います。

中村 逆瀬台小学校区まちづくり協議